



小城市立歴史資料館 * 中林梧竹記念館だより

佐賀大学交流事業講演会が 開催されました

10月31日(土)と11月28日(土)に歴史資料館研修室で講演会「小城藩日記の世界」が開催されました。

講師に伊藤昭弘^{いとうあきひろ}さん(佐賀大学地域学歴史文化研究センター長)と吉賀夏子^{よしがなつこ}さん(佐賀大学地域学歴史文化研究センター講師)を迎えて行われました。



令和2年度小城市歴史資料館常設展示テーマ展 「小城市の肥前狛犬展」(後期)を開催中

戦国時代から江戸時代にかけて肥前国および筑後地方に点在した肥前狛犬にスポットを当て、小城市内に残る肥前狛犬に関する写真、パネルの展示を行います。

- ◆期間 12月19日(土)～令和3年1月31日(日)
- ◆場所 歴史資料館 常設展示室内
- ◆観覧料 無料



▲肥前狛犬

おぎの歴史探検隊

銀座の書聖・中林梧竹〈その3〉

明治31(1898)年、72歳の梧竹は富士山頂に「鎮國之山」の銅碑を建立。8月には登頂して除幕式を行います。5合目まで車で行ける現代とは違い、麓から歩いての登山ですから驚くべき健脚です。しかも梧竹は80歳のときにも富士を登山。まさに「スーパー老人」ですね。

梧竹は明治37(1904)年、78歳のとき東京三田の薬王寺に、自分の生前墓(寿塔)を建てました。そこは、彼が10代で江戸に留学したときの師匠、山内香雪^{やまのうちのこうせつ}の墓の前。梧竹は終生、香雪の恩を忘れなかったのです。その後、友人知己を集め自分の葬式を執り行った梧竹は、盛大な宴会を催し、集まった香典をすべて使い果たしたとのこと。

そんな梧竹も病には勝てません。明治45(1912)年、86歳のとき銀座の床屋で倒れ、左半身不随に。

終焉^{しゆうえん}の地を小城と定めた梧竹は病をおして帰郷し、大正2(1913)年、ついに87年の生涯を閉じました。遺骨は三日月村の長栄寺と薬王寺に葬られましたが、梧竹の魂は今も愛した銀座を歩いているのかもしれないね。(終) 小城市郷土史研究会/著



▲三田の薬王寺

❖開館時間 9時～17時 ❖休館日 毎週月曜日・祝日 12月29日(火)～令和3年1月4日(月)、1月12日(火)
【問合せ・申込み】歴史資料館 文化課(桜城館2階) 担当 下川・永田 ☎71・1132

小城市ホームページから [梧竹・歴史資料館・文化財](#) 検索